Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 インストールガイド



メモ、注意、警告

() メモ: 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ 注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

▲ 警告:物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2015 -2018Dell Inc. その関連会社。All rights reserved.Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2018 - 04

Rev. A00



1 Introduction to Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core	4
2 システム要件	6
管理システムのシステム要件	6
管理対象システムのシステム要件	6
3 Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 のダウンロードとインストール	8
4 Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 のアップグレード	10
5 Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 のアンインストール	12
6 Accessing documents from the Dell EMC support site	13
7 関連マニュアル	14
付録 A: OMSDK のインストール	15
OMSDK パッケージのインストール :	15
OMSDK パッケージのアップグレード:	15
OMSDK パッケージのアンインストール:	

Introduction to Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core

This guide provides information about the software requirements, system requirements, and the steps to install, upgrade, and uninstall the Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core.

This plug-in provides capabilities to monitor Dell EMC devices in environments managed by Nagios Core. This plug-in gives you complete hardware-level visibility of Dell EMC devices, including overall and component-level health monitoring. The plug-in provides basic inventory information and event monitoring of Dell EMC devices. The plug-in also supports one-to-one web console launch of the supported Dell EMC devices for further troubleshooting, configuration, and management activities.

The Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core supports the following Dell EMC devices:

- 12th and later generations of PowerEdge servers through the agent-free method by using Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) with Lifecycle Controller (LC)
- OEM Servers
- Datacenter Scalable Solutions (DSS)
- · Hyper-converged Infrastructure (HCI) Platforms Dell EMC VxRail, Dell EMC XC Series
- PowerEdge FX2/FX2s chassis, PowerEdge VRTX chassis, and PowerEdge M1000e chassis
- EqualLogic PS-Series Storage Arrays, PowerVault MD 34/38 Series Storage Arrays and Compellent SC-Series Storage Arrays
- · Dell EMC Network Switches

For more details on device support, see Support matrix in the "Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core User's Guide."

Table 1. Key features

Feature	Functionality
Device Discovery	Discovers Dell EMC devices. Once the discovery is complete, host and service definitions are created for each device.
	Discovering Dell EMC servers through iDRAC with Lifecycle Controller could be done either using SNMP or WSMan protocol or Redfish REST APIs.
	Dell EMC storage and Dell EMC Network Switch discovery is supported using SNMP protocol.
	Dell EMC chassis discovery is supported using WSMan protocol.
Device Information	Displays information about the discovered device such as Service Tag, Firmware Version, Device Name, Device Model, and so on after a device discovery is successful. You can view this information in the Hosts or the Services view in the Nagios Core console.
	For more information about device services and their description, see Device Information in the <i>Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core User's Guide</i> .
Monitor overall health of Dell EMC devices	Monitors the overall health of Dell EMC devices.

Feature	Functionality
Component level health of Dell EMC devices	Monitors health of the Dell EMC device components such as Physical Disks, Power Supply, Temperature Probe and Voltage Probe and displays the information about the respective components.
	For more information about Component level health of Dell EMC devices and their description, see Monitor Component Health of Dell EMC Devices in the <i>Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core User's Guide</i> .
Monitor SNMP alerts	Monitors SNMP alerts for Dell EMC devices. This feature displays only the last received SNMP alert.
	To view all received SNMP alerts navigate to Reports > Alerts > History in the Nagios Core console.
	You can also view the Alert Knowledge Base (KB) information for the supported Dell EMC devices corresponding to an SNMP alert for faster troubleshooting of the respective alert.
	For more information, see Knowledge Base (KB) messages for the generated alerts in the Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core User's Guide.
Launching Dell EMC device specific consoles	Launches the respective Dell EMC one-to-one consoles to further troubleshoot and manage the supported Dell EMC devices.
Warranty information	Monitors and displays the warranty information for the supported Dell EMC devices. For more information, see Warranty information for Dell EMC devices in the <i>Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core User's Guide</i> .

This plug-in supports Nagios Core versions 3.5.0 and later.

Before installing Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core, download the latest documents from Dell EMC OpenManage Plug-in for Nagios Core for the latest information about this product.





Plug-in のインストールを開始する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

共通の前提条件:

- Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされており、すべての Nagios Core コンポーネントが機能している。
- OMSDK (OpenManage Python Software Development Kit) バージョン 1.1 以降がインストールされている。
- Python バージョン 2.7.5 以降または 3.6.3 以降がインストールされている。
- Python Argparse モジュールがインストールされている。
- Python Netaddr モジュールがインストールされている。
- (オプション)Dell EMC の保証情報を表示するために、Java バージョン 1.6 以降がインストールされている。
- (オプション) SNMP アラートを受信するために、SNMP トラップトランスレータ(SNMPTT) バージョン 1.3 以降がインストールされている。最新バージョンの使用をお勧めします。
- メモ: OMSDK でのインストール、アップグレード、アンインストールの詳細については、「OMSDK のインストール」を参照してください。

トピック :

- 管理システムのシステム要件
- 管理対象システムのシステム要件

管理システムのシステム要件

管理システムの要件は、次のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.3 および RHEL 6.9 (64 ビット)
- Ubuntu 16.04.3 サーバ (64 ビット)
- SLES 12 SP3

対応バージョンの RHEL、SLES、および Ubuntu ゲストオペレーションシステムをホストしている ESXi ハイパーバイザもサポートされています。

管理対象システムのシステム要件

管理下システムの必要条件は、次のとおりです。

表 2. Dell EMC デバイス用の対応ファームウェアバージョン

Dell EMC デバイス	ファームウェア	対応ファームウェアバージョン
第 14 世代 PowerEdge サーバ	iDRAC9	3.17.17.17、3.15.15.15、3.11.11.11 および 3.00.00.00
第 13 世代 PowerEdge サーバ	iDRAC8	2.50.50.50 および 2.41.40.40

Dell EMC デバイス	ファームウェア	対応ファームウェアバージョン
第 12 世代 PowerEdge サーバ	iDRAC7	2.50.50.50 および 2.41.40.40
Datacenter Scalable Solutions	iDRAC8	2.50.50.50 および 2.41.40.40
Nutanix XC	iDRAC8 iDRAC9	2.50.50.50 および 2.41.40.40 3.15.15.15 および 3.11.11.11
VxRail	iDRAC8 iDRAC9	2.50.50.50 および 2.41.40.40 3.15.15.15 および 3.11.11.11
PowerEdge M1000e シャーシ	СМС	6.0 および 5.22
PowerEdge VRTX シャーシ	СМС	3.0 および 2.23
PowerEdge FX2/FX2s シャーシ	СМС	2.0 および 1.42
Compellent SC-Series ストレージアレイ	該当なし	7.2.10 および 7.2.1
EqualLogic PS-Series ストレージアレイ	該当なし	9.1.5 および 9.1.4
PowerVault MD 34/38 シリーズストレージアレイ	該当なし	08.25.13.60 および 08.25.11.60
Dell EMC ネットワークスイッチ M、S、FN、Z および C シリー ズ Dell EMC ネットワークスイッチ N シリーズ		9.13.0.0 および 9.11.2.8 6.3.3.10 および 6.3.3.9

SNMP プロトコルを使用する場合は、それぞれのデバイスに SNMP が設定されていることを確認してください。
 Nagios Core コンソールで SNMP トラップを受信する場合は、それぞれのデバイスに SNMP トラップ送信先を設定してください。

詳細については、dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement にある『Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core User's Guide』(Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 ユーザーズガイド)の付録の項を参照してください。

- Redfish REST APIを使用する場合は、それぞれのデバイスで Redfish が有効になっていることを確認してください。
- WSMan プロトコルを使用している場合は、デフォルトのサービスアカウントではなく、WSMan サービスアカウントの使用が推奨されます。詳細については、Dell.com/esmmanualsにある各デバイスのユーザーズガイドの「ユーザーアカウントと権限の設定」を参照してください。

対応プラットフォームのリストについては、『Dell EMC OpenManage Plug-in Version 3.0 for Nagios Core User's Guide.』(Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 ユーザーズガイド)のサポートマトリックスに関する項を参照してください。

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 のダウンロードとインストール

1 Dell EMC サポートサイト(**Dell.com/support**)または Nagios Exchange(**exchange.nagios.org/**)から、最新の Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 インストーラをダウンロードします。

インストーラは、Dell_EMC_OpenManage_Plugin_v3.0_Nagios_Core_A00.tar.gz という名前の.tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。

ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。
 tar -zxvf Dell_EMC_OpenManage_Plugin_v3.0_Nagios_Core_A00.tar.gz

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell_EMC_OM_Plugin_3_0_For_NagiosCore_IG.pdf 7r1l
- Dell_EMC_OM_Plugin_3_0_For_NagiosCore_ReadMe.txt 7r11
- license en.txt איז ווכפון
- 3 Dell_OpenManage_Plugin/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。 ./install.sh
- 4 お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は Yを押します。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。
 Enter を押して、デフォルト値(Y)で続行することも可能です。
- 5 インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して Enter を押します。 デフォルトの場所である /usr/local/nagios/ を使用して続行する場合は、そのまま Enter を押します。 入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。

前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。

- メモ:その他の必要な前提条件が満たされていない場合、インストール中に適切なメッセージが表示され、インストールは続行されます。
 ただし、機能を作動させる前に、必須条件の内容がすべてインストールされている必要があります。さもないと、エラーメッセージが表示されて機能が停止します。
- 6 **ライセンス契約** に同意する場合は Y を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。 Enter を押して、デフォルト値(Y)で続行することも可能です。
- 7 Yキーを押して escape_html_tags 属性を「0」に設定、または N を押してデフォルト設定「1」で続行します。 Enter を押して、デフォルト値(N)で続行することも可能です。

メモ: Dell EMC プラグインの異なるインスタンスやエンティティを区別できるよう、マルチラインビューで読みやすくするため、 escape_html_tags 属性を「0」に設定してインストールを続行することをお勧めします。

8 SNMPTT をインストールした場合、SNMPTT がインストールされている場所のパスを入力してからYを押してインストールを続行します。 または Enter キーを押してデフォルトのファイルのパス /etc/snmp/snmptt.ini で続行することもできます。SNMPTT が未インストールでこの手順を スキップする場合は、Enter を押します。

① メモ: このプラグインのインストール中には SNMPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信したくなったという場合 は、次の手順を実行します。

- SNMPTT をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
 ./install.sh trap

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core がインストールされている場所のことです。デフォルトでは、<NAGIOS_HOME> の場所は /usr/ local/nagios/ です。

• SNMPTT を再起動します。

9

• Nagios サービスを再起動します。

Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから Y を押してインストールを続行します。 または、Enter を押して、デフォルトのファイルパスである /usr/bin/java を使用して続行することもできます。

① メモ: このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしたくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
 - ./install.sh java

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core がインストールされている場所のことです。デフォルトでは、<NAGIOS_HOME> の場所は /usr/ local/nagios/ です。

Nagios サービスを再起動します。

これで、プラグインがインストールされました。

10 Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。 <NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS HOME>/etc/nagios.cfg

設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してください。

- 11 SNMPTT をインストールしており、SNMPTT 設定エントリを検証したいという場合は、SNMPTT がインストールされているパスに移動して、 snmptt.ini ファイル内でセクション TrapFiles の下に次のエントリが存在していることを確認します。
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
 - <NAGIOS HOME>/dell/config/templates/Dell EqualLogic Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_F10_Switch_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_N_Series_Traps.conf
- 12 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。 service nagios restart
- 13 SNMPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPTT サービスを再起動します。 service snmptt restart

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 のアップグレード

Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 または Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 2.1 から Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1 Dell EMC サポートサイト(**Dell.com/support**)または Nagios Exchange(**exchange.nagios.org/**)から、最新の Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 インストーラをダウンロードします。

インストーラは、Dell_EMC_OpenManage_Plugin_v3.0_Nagios_Core_A00.tar.gz という名前の.tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。

ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。
 tar -zxvf Dell_EMC_OpenManage_Plugin_v3.0_Nagios_Core_A00.tar.gz

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell_EMC_OM_Plugin_3_0_For_NagiosCore_IG.pdf 7r1l
- Dell_EMC_OM_Plugin_3_0_For_NagiosCore_ReadMe.txt 7r11
- license en.txt 7r11
- 3 Dell_OpenManage_Plugin/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。 ./install.sh
- 4 お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は Y を押します。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。
 任意のキーを押して、デフォルト値(Y)でインストールを終了することもできます。
- 5 インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して Enter を押します。 デフォルトの場所である /usr/local/nagios/ を使用して続行する場合は、そのまま Enter を押します。 入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。

前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。

- ① メモ: その他の必要な前提条件が満たされていない場合、インストール中に適切なメッセージが表示され、インストールは続行されます。 ただし、機能を作動させる前に、必須条件の内容がすべてインストールされている必要があります。さもないと、エラーメッセージが表示されて機能が停止します。
- 6 Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 へのアップグレードを求めるダイアログが表示されたら、Y を押します。 Enter を 押して、デフォルト値(Y)で続行することも可能です。

アップグレードしない場合は、他の任意のキーを押してインストールプロセスを終了します。

- 7 **ライセンス契約** に同意する場合は Y を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。 Enter を押して、デフォルト値(Y)で続行することも可能です。
- 8 SNMPTT をインストールした場合、SNMPTT がインストールされている場所のパスを入力してからYを押してインストールを続行します。 または Enter キーを押してデフォルトのファイルのパス /etc/snmp/snmptt.ini で続行することもできます。SNMPTT が未インストールでこの手順を スキップする場合は、Enter を押します。

① メモ: このプラグインのインストール中には SNMPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信したくなったという場合 は、次の手順を実行します。

- SNMPTT をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
 ./install.sh trap

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core がインストールされている場所のことです。デフォルトでは、<NAGIOS_HOME> の場所は /usr/ local/nagios/ です。

• SNMPTT を再起動します。

9

• Nagios サービスを再起動します。

Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから Y を押してインストールを続行します。 または、Enter を押して、デフォルトのファイルパスである /usr/bin/java を使用して続行することもできます。

① メモ: このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしたくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
 - ./install.sh java

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core がインストールされている場所のことです。デフォルトでは、<NAGIOS_HOME> の場所は /usr/ local/nagios/ です。

Nagios サービスを再起動します。

これで、プラグインがインストールされました。

10 Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。 <NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg

設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してください。

- 11 SNMPTT をインストールしており、SNMPTT 設定エントリを検証したいという場合は、SNMPTT がインストールされているパスに移動して、 snmptt.ini ファイル内でセクション TrapFiles の下に次のエントリが存在していることを確認します。
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
 - <NAGIOS HOME>/dell/config/templates/Dell EqualLogic Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_F10_Switch_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_N_Series_Traps.conf
- 12 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。 service nagios restart
- 13 SNMPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPTT サービスを再起動します。 service snmptt restart

5

Nagios Core 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.0 のアンインストール

- 1 <NAGIOS_HOME>/dell/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。 ./uninstall.sh
- アンインストールしてよいかを確認するメッセージが表示されたら、Yを押してアンインストールするか、Nを押してアンインストール処理を終了します。 または、Enterを押して、アンインストールを終了することもできます。
- 3 アンインストール処理を続行するためのプロンプトが表示されたら、Yを押して続行するか、Nを押してアンインストール処理を終了します。 または、Enterを押して終了することもできます。

① メモ: インストール中に escape_html_tags 属性の値を「0」に設定した場合は、<NAGIOS_HOME>/etc/cgi.cfg ファイルに移動してこの値を編集することにより、この値をデフォルト値である「1」にリセットすることができます。

これで、プラグインがアンインストールされました。

- 4 Dell EMC OpenManage Plug-in がアンインストールされたことを検証するには、<NAGIOS_HOME>フォルダに移動して、dell フォルダが削除されていることを確認します。
- 5 Nagios Core の設定エントリを確認するには、Nagios Core がインストールされているパスに移動し、次のコマンドを実行します。 <NAGIOS HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS HOME>/etc/nagios.cfg

設定のアップデートが正常終了した場合、エラーや警告は表示されません。この手順中にエラーや警告が表示された場合は、手動で解決してくだ さい。

- 6 SNMPTT をインストールしている場合は、SNMPTT がインストールされているパスに移動し、snmptt.ini ファイルの TrapFiles セクションから次のエントリが削除されていることを確認します。
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
 - <NAGIOS HOME>/dell/config/templates/Dell Compellent Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_F10_Switch_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_N_Series_Traps.conf
- 7 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。

service nagios restart

8 SNMPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPTT サービスを再起動します。 service snmptt restart

Accessing documents from the Dell EMC support

You can access the required documents using the following links:

- For Dell EMC Enterprise Systems Management documents www.dell.com/SoftwareSecurityManuals
- For Dell EMC OpenManage documents www.dell.com/OpenManageManuals
- For Dell EMC Remote Enterprise Systems Management documents www.dell.com/esmmanuals
- For iDRAC and Dell EMC Lifecycle Controller documents www.dell.com/idracmanuals
- For Dell EMC OpenManage Connections Enterprise Systems Management documents www.dell.com/ OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
- For Dell EMC Serviceability Tools documents www.dell.com/ServiceabilityTools
- a Go to www.dell.com/Support/Home.
 - b Click Choose from all products.
 - c From All products section, click Software & Security, and then click the required link from the following:
 - Enterprise Systems Management
 - Remote Enterprise Systems Management
 - Serviceability Tools
 - Dell Client Command Suite
 - Connections Client Systems Management
 - d To view a document, click the required product version.
- Using search engines:
 - Type the name and version of the document in the search box.

6





本ガイド以外にも、Dell EMC サポートサイト (**Dell.com/support/manuals**) から次のガイドを入手できます。「マニュアル」ページで **ソフトウェアおよび** セキュリティ をクリックし、適切な製品リンクをクリックすると、ドキュメントにアクセスできます。

- Integrated Dell Remote Access Controller 9 (iDRAC9) Version 3.00.00.00 User's Guide (Integrated Dell Remote Access Controller 9 (iDRAC9) バージョン 3.00.00.00 ユーザーズガイド)
- Dell EMC XC シリーズハイパーコンバージドアプライアンスの各種マニュアル
- Dell EMC VxRail アプライアンスシリーズの各種マニュアル
- Integrated Dell Remote Access Controller 8 with Lifecycle Controller User's Guide (Integrated Dell Remote Access Controller 8 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド)
- Integrated Remote Access Controller 7 User's Guide (Integrated Remote Access Controller 7 ユーザーズガイド)
- Dell EMC Chassis Management Controller for Dell PowerEdge M1000e User's Guide (Dell PowerEdge M1000e 用 Dell EMC Chasis Management Controller ユーザーズガイド)
- Dell EMC Chassis Management Controller for Dell PowerEdge VRTX User's Guide (Dell PowerEdge VRTX用 Dell EMC Chasis Management Controller ユーザーズガイド)
- Dell EMC Chassis Management Controller for Dell PowerEdge FX2/FX2s User's Guide (Dell PowerEdge FX2/FX2s 用 Dell EMC Chasis Management Controller ユーザーズガイド)
- Compellent SC-Series Storage Arrays User's Guide (Compellent SC-Series ストレージアレイユーザーズガイド)
- EqualLogic PS-Series Storage Arrays User's Guide (EqualLogic PS-Series ストレージアレイユーザーズガイド)
- PowerVault MD-Series Storage Arrays User's Guide (PowerVault MD-Series ストレージアレイユーザーズガイド)
- Dell EMC Network Switch User's Guide (Dell EMC ネットワークスイッチユーザーズガイド)

www.nagios.org/documentation で、Nagios Core 関連のマニュアルも参照してください。

OMSDK のインストール

Д

OMSDK は、pypi.orgの標準 Python パッケージとして利用できます。pip を使用して OMSDK をインストールできます。

OMSDK パッケージのインストール:

OMSDK をインストールするには、次のコマンドを実行します。

pip install omsdk

pip install omdrivers

OMSDK パッケージのアップグレード:

OMSDKをアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

pip install omsdk --upgrade

pip install omdrivers --upgrade

OMSDK パッケージのアンインストール:

OMSDKをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

pip uninstall omsdk

pip uninstall omdrivers